



78  
MOSTRA INTERNAZIONALE  
D'ARTE CINEMATOGRAFICA  
LA BIENNALE DI VENEZIA 2021  
Special Jury Prize

第78回(21年)ヴェネチア国際映画祭(プレミア上映・3冠)

審査員特別賞受賞

FEDIC(イタリア映画クラブ連盟)賞受賞

La Pellicola d'Oro Award(ラ・ペリッコラ・ドーロ賞)受賞

イタリア映画史における孤高の映像作家ミケランジェロ・フランマルティノと最新作を含む、全長編3作品を一挙上映



イタリア映画史における孤高の映像作家ミケランジェロ・フランマルティノ。言葉に頼らず、人間、動物、大地、そして闇——すべての存在が等しく尊厳を持ち、調和の中で生きる様子を映し出すその世界には、誰も見たことがない驚きと畏敬が満ちています。それは、現実を超えた世界の奥行きに触れる映画体験であり、私たちが神秘とワンダーの中へと引き込むのです。本特集では、デビュー作であり日本初公開となる『おくりもの 4Kレストア版』、カンヌ映画祭で2冠に輝くなど喝采を浴びた『四つのいのち』、そしてヴェネチア映画祭で3冠に輝いた最新作『地底への旅』の全長編3作品を一挙上映します。フランマルティノが描き出すのは、言葉を超越した「存在の映画」の極致。目の前に広がる驚きと美しさを、ぜひ映画館で体感してください。



ミケランジェロ・フランマルティノ

1968年ミラノ生まれ。ミラノ工科大学建築科を経て、「スロー・シネマ」の旗手として国際的評価を確立。対話をほとんど持たない映像言語、固定カメラによる長回し、自然音を主体とした音響設計によって、人間中心主義を超えた独自の映画世界を構築する。カンヌ、ヴェネチア、ロカルノをはじめとする世界の主要映画祭でも高く評価される現代映画の最重要作家の一人。

## 地底への旅

最新作・日本劇場初公開

ヴェネチア映画祭3冠 名手レナート・ベルタ撮影  
「地上と地下」「進歩と伝統」「光と闇」を  
描き出す壮大な時間のシンフォニー

『四つのいのち』から11年、フランマルティノが到達した新たな境地——それは「地上と地下」、「進歩と伝統」、「光と闇」を対法的に描き出す壮大な時間のシンフォニー。第78回ヴェネチア国際映画祭で審査員特別賞ほか3冠に輝いた本作は、イタリアの高度経済成長期という歴史的文脈を背景に、人間が未知の領域へと踏み込む行為の意味を問う。極限まで抑制された音響設計、闇の中で微かに揺れる光、重力と身体の関係——フランマルティノは「下降」という運動を通して、映画の新たな次元を切り拓いた。撮影監督は、ゴダール、ロメール、シュミット、オリヴェイラなど、数々の名監督との協業で知られる名手レナート・ベルタ。暗闇を探索する探検家たちの未知への希望と恐怖を美しい陰影によって見事に捉えている。

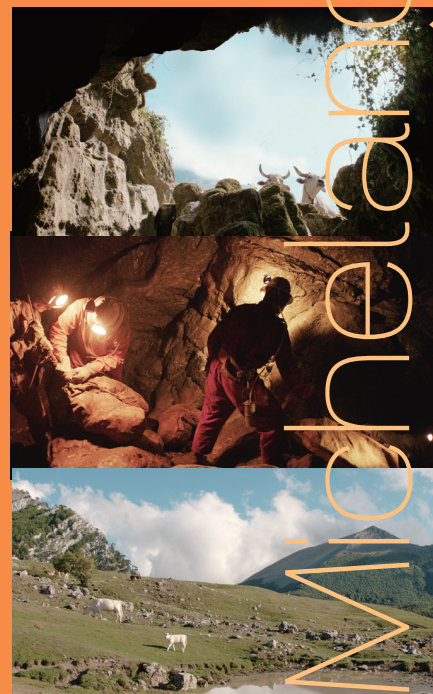
**STORY** 若い探検家たちは地図もない状態で地下683メートルの未踏の深淵に挑み、アセチレンランプの光を頼りに洞窟の構造を測量・記録する。一方、地上では老羊飼いがポリノ高原の広大な自然の中で、病に苦しみながらも静かに最期を迎える準備を進める。彼の死は、洞窟探検家たちが深淵の最深部に到達する瞬間と重なり、生と死、時間と空間の壮大な循環を描き出す…。

原題:IL BUCO(東京国際映画祭上映時タイトル「洞窟」)/2021年

イタリア/97分/DCP/カラー/1.85:1/5.1ch/4K

©2021 DOPPIO NODO DOUBLE BIND - ESSENTIAL FILMS - SOCIETE PARISIENNE DE PRODUCTION - ARTE FRANCE CINEMA

<https://frammartino.com/>



2026年6月19日(金)よりヒューマントラストシネマ渋谷ほか全国順次公開